

ウェブ上の情報の信頼性をどのように判断するか

How can we estimate reliability of the data which exist on Web-sites?

大作 勝^{*1}、神門 英樹^{*2}

Masaru Ohsaku^{*1} and Hideki Kamikado^{*2}

^{*1} 長崎大学アドミッションセンター

^{*1} *Admission Center, Nagasaki University*

1-14 Bunkyou-machi, 852-8521 Nagasaki, Japan

^{*2} 長崎大学大学院教育学研究科

^{*2} *Graduate School of Education, Nagasaki University*

1-14 Bunkyou-machi, 852-8521 Nagasaki, Japan

わからないことがある。何かの事項・ことがらについて少し詳しく調べたい。欲しい情報を探し出す、新しい知識を得る、このような目的のために学校教育の場で又は家庭学習に際し、パーソナルコンピュータ（パソコン）とインターネット技術を利用して特定の Web ページ（ウェブページ）上にアクセスする機会が多くなった。しかしながらこのようにしてウェブページ上から得られた情報は、果たしてどれも正しいのだろうか。ウェブページ上のデータの信頼性は、どのようにして決められるのだろうか、ウェブページ上のデータの信頼性を決める判断基準は何だろうか、ここではウェブページ上の情報にはどのような間違いが多いか、どのようにして間違いを見出すか、どのようにすれば間違い情報を避けることができるか、についての検討を試みた。これらをふまえて教員は学校現場で、パソコンを利用した情報検索に際し、情報リテラシー教育の一環として、児童生徒に対し「情報の見極めが正しく行えるよう」指導する必要があるとした。

キーワード： インターネット技術、ウェブサイト、情報の信頼性、教育利用

1. はじめに

わが国の学校教育ないしは家庭学習の場において、新しい情報獲得手段としてのインターネット技術が最近特に重要になってきている。この技術は主としてパーソナルコンピュータ（パソコン）の高速化と記憶容量の大容量化及び高速ネットワークの急速な発展・普及に依っている。私たちが日常生活で又は教育研究活動に際して何かを調べようとするとき、パソコンを使いしかるべき Web ページ（ウェブページ）にアクセスすること

は多い。もちろん書籍をはじめ印刷物にあたる機会はさらに多くある。しかしながらウェブページの利用は、書籍など印刷物の利用よりはるかに手軽かつ高速である。ところが結果として得られた情報は、正しいのだろうか。得られた情報が正しいかどうかを私たちはどのように判断しているのだろうか、どのように判断すればよいのだろうか。ウェブページ上の情報は印刷メディアのそれらとどこが違うのだろうか。かなり長期間にわたってパソコンを使っている利用者は、いくつかの

経験によってこれらのことに対しある程度の判断ができる。しかしながらパソコン利用に関して初心者や児童生徒はどうだろうか。つまり彼ら/彼女らが今開設されているウェブ上の情報の信頼性を正しい方法で判断するには、どうすればよいのだろうか。これらのことを明らかにするためには、現状を知る必要がある。さらにまたウェブページ上の情報に間違いが多いとすれば、どのような種類の間違いが多いのだろうか。このような観点から、実際のウェブページにあたってみた。これからのことから、間違い情報に対処する妥当な方法が見つかるはずである。

日本教育メディア学会では、最近発行された「教育メディア研究第11巻第2号」で『メディア・リテラシー教育の現状と課題』という特集を組んでいる。この中で後藤はウェブ情報の批判的な見方（Critical Viewing Skills）の発達を見るために、小学生から大学生までについて調査している（後藤，2005）。この研究結果は小学生から大学生に到るまで、正しい情報リテラシー教育が必要であることを示唆している。また和田は本年度の日本教育メディア学会年会で教科「情報」の教員免許取得を目指す教員養成系学部学生について、インターネット利用に際したリスク認知に関する研究発表を行い、その中で大きなリスク要素の1つとして、「ウェブで間違った情報やデータを信頼してしまう」をあげている（和田，2005）。このことはかなりのパソコン利用経験があると思われる「情報」免許取得希望者においてすら、ウェブページ上の情報の真偽判断が正しくできていないことを意味している。一方、新聞記事であるが、小学校における総合学習の時間に「モノの調べ方」について学ぶ際、「インターネットは新しい情報に強く、下調べには有効だが、筆者がわからない場合が多く（ウェブページの開設者情報が書かれていないなど）、後から確認できないから参考文献にはならない」

と断定している（毎日，2005）（引用文の一部は著者が改変加筆した）。しかしながらこれは少し言いすぎだろう。全てのウェブページが信頼できないわけではない。

本研究では、主としてインターネット技術を利用したウェブページ検索に際し、学校現場で児童生徒に対して指導する教員が知っておかなければならないことがら、ウェブページ上の情報の間違いをどのようにして判断するか、またどのようにして避けることができるか、このことを児童生徒に対してどのように教育するか、並びに一般のパソコン利用者が気をつけておかなければならないことがらについて論じる。これはまた今後ますます重要となるであろう、わが国の生涯学習活動に際し、一般市民が知っておかなければならない知識の1つともなる。

2. ウェブ上の情報の現状把握

ウェブ上の情報には、どのような間違いが多いか、どうすれば間違いを見抜くことができるか、どのような間違いは許容できるかについて調べるために、身近なことがらとして、長崎と関係の深いいくつかの事項を選んで閲覧した。これらは著者らにとっても身近なことがらであり、比較的検証しやすいと判断したからである。また確認しやすい主要指標として以下のものを挙げた。

年号（年代）

その他の数値、数字

固有名詞（地名、人名）

スペリング

ここでウェブページ上の情報の性質について知るために、書籍などの印刷メディアとウェブページの制作・改訂過程ほかに際した手続き・記載の違いについてまとめる（表1）。これより、情報改訂のスピードでは、ウェブページは印刷メディアに比して優れているが、正しくつくられていないウェブページは信頼性を担保する要素において、多くの点で

印刷メディアに対して劣っていることがわかる。したがって学校等における公的なウェブページ開設に際しては、必要かつ十分な情報を掲げなければならないだろう。学校現場

での指導に際しても同様であり、このことをまず最重要なものの1つとしなければならない。

表1. 印刷メディアとウェブページの制作・手続き上の違い(各メディア上における記載に関する比較ほか)

	書籍	ウェブページ
発行前/開設前の記事内容のチェック	ほとんどの場合ある	ないこともある
改訂するには	時間がかかる	比較的簡単
改訂すると	旧版は残る	多くの場合、もとのデータは残らない
したがってもとのデータを参照	できる	ほとんどできない
発行年/開設年月日	必ずある	ないことも多い
発行者/開設者	必ずある	ないことも多い
改訂情報	必ずある	ないことも多い
発行者・著者/開設者・著者	別のことが多い	同じことが多い
記述内容に関する責任の所在	発行者	開設者
著者	必ずある	ないことも多い
連絡先	必ずある	ないことも多い
情報の保存期間	長期間	長期間と短期間が混在

本研究では具体例として以下の事項について調べた。ウェブページは多くの場合最上位のページ(トップページ)とその直下のページ(第2層)の閲覧に限定した。サーチエンジンはわが国で最もよく用いられているもの数種を使用した。

・シーボルト事件

「シーボルト事件」の発生年号に注目し15のウェブページを閲覧した(付表1)。年号としては1828年が正しいが、ややあいまいな表現もある。これは事件の解決に1年以上もの期間を要したからであろう。年号の表記としては、西暦と併せて和暦を表記しているものがあり、その時代の政治的又は文化的背景を考察する際に有効であろう。また和暦

と西暦には、相応のずれがあることを認識しておく必要がある。ウェブサイトの運営主体に観点を移すと、公的サイトは学術的表現を用いながら鮮明な画像を取り入れ、信憑性が高く評価されるような印象を受ける。私的サイトにおいても、画像や文章は公的サイトに劣らないものの「私的」というだけで、信憑性のイメージが懸念される面もある。

・波佐見焼

最も簡単に比較できるものとして、「波佐見焼」のはじまりの年号を指標として採りあげた(付表2)。ここで実際に閲覧した15のウェブページのうち1つは、年号を表示していない。あとは全て表示があった。相対的表示をしているものは2つで、約400年前とあ

る。絶対的表示では、早いものは1580年頃、ほとんどは1600年前後を指す年号が曖昧な表現(15世紀末又は16世紀初め)で表記している。これらのことから年代表記は概ね正しいと思われるが、かなり曖昧な表記もあることがわかる。したがってこれらの資料のどれか1つで、波佐見焼のはじまりを正確に判断するのは危険であることもわかる(しかしながらおおよその年代はわかる)。またスベリングの誤記もみられた。

・三川内焼

同じく長崎を代表する「三川内焼」についてのウェブページについて吟味した。ここでは10のウェブページについて調べた(付表3)。三川内焼は波佐見焼とほぼ同時代に始まったと思われるが、ここには2つの別の問題があることがわかった。その1は「みかわちやき」の表記法である。現在は「三川内焼」を用いているようであるが、古くは「三河内焼」を使っていたのであろうか。しかしながらこのことに関する記述をウェブページ上に見つけることはできなかった。その2は三川内焼の起源をどこ(場所)にするかである。三川内焼のもととなったとされる平戸窯は、はじめ平戸の中野(地名)で始められ、後に現在の地、三川内に移されたと考えられる。したがって三川内焼のはじまりをどこにするか、—つまり中野にするか三川内にするか—、である。はじまりの年代・時代についてみる。この場合記述のないもの2つ、400年前と相対的表示のもの1つ、その他は、どこをはじまりの場所と決めるかで記載年代は大きく異なっている。明らかに間違いと思われる元号を挙げているものも1つある。

・トルコライス

ここでは「トルコライス」の起源について調べるために、10のウェブページを閲覧した(付表4)。トルコライスの言葉の起源として、トルコ料理起源説、トルコ架け橋説、トリコロール起源説、トルコ名称流

行説の4説が提唱されている。はトルコがイスラム教国ということから考察すると、食材に豚カツが使用されていることから疑問視される。についてはピラフ(焼きめし)が中国を、スパゲッティがヨーロッパを指し、そこに豚カツが加わって架け橋になるという解釈から、両地域の間位置するトルコの名称を採り上げたというものである。はフランス語で三色旗を意味する「トリコロール」がなまって「トルコ」と略されたという説である。はトルコライスが生まれた1950年代に「トルコ」という用語が流行語であったことから、その名前をつけられたという説である。いずれの説も確証的な根拠はなく、その詳細もわかってはいない。また、長崎のほかにも神戸、北海道など全国各地に発祥を名乗る店が点在しており、起源年についても1925年、1950年代、1960年代と各ウェブサイトで異なっていて確証を得るには十分でない。一方で、トルコライスが料理であるために、画像を用いたウェブページが多く、特にWebLog(ウェブログ)形式で紹介しているサイトが大半を占めている。ウェブログ情報については、出典不明のウェブページ情報を転載していることが多いと思われる。情報の信憑性については疑問視されるものが多いと考えられる。

・チャンポン

ここでは「チャンポン」の起源に焦点を当て、7つのウェブページを閲覧した(付表5)。明治32年、長崎市中華料理店が中国人留学生に安価で栄養価の高い食事を食べさせようと考えたのがチャンポンのはじまりとされている。したがって、チャンポンの起源とされる年代としては、明治32年または明治30年代の表記が正しいものと判断される。しかし、「明治初期」「明治中期」といった誤表記も見られる。またトルコライスの場合と同様、ウェブログ情報として紹介されていることが多いとともに通信販売のサイト

などへ行く場合もあるため、歴史的背景を調査するには、中華料理屋などといった地元情報と融合させながら学習を進めていくことが有効であると考えられる。さらに教育上不適切なサイトも検出されたことから、教師側において事前にフィルタリングソフトを活用して生徒が不適切なサイトへリンクできないように制限をかけることも必要である。また情報検索の際のアクセス方法によっては、突然ディスプレイに不適切サイトの表示が現れることも考慮し、前もって情報リテラシー又はメディアリテラシー教育を行っておくことも必要である。

・長崎カステラ

ここでは主に「長崎カステラ」の語源について調べた。10のウェブページを閲覧した(付表6)。これよりカステラはポルトガル人によってもたらされたが、その時期は室町(時代1338-1573年)天正時代(1573-1591年)約400年前とかなり広い(かつこ内は著者が加筆した)。またカステラの語源にはほぼ2説あり、その1はスペインのカスティーリャ(又はカスティリア)地方又は王国のポルトガル読み(Castelra; Castella; Castilla)とするもの、その2は製造過程で城(カステロ X castelo)の形に積み上げる、泡立てる時の掛け声とされているが、これらの地名を表すものなどのカタカナ表記はバラバラであり、スペリングもまたバラバラである(大文字小文字を含めて)。したがってどれを信じればよいのかわからない。結局辞書などの書籍にあたって確かめるしか方法はないだろう¹⁾。

・べっ甲

ここでは「べっ甲」の伝来時期と技術の伝来時期(わが国でのべっ甲細工の始まり)に焦点を当て、4つのウェブページを検索した(付表7)。そもそもべっ甲という語句も商品としての流通が多く、通信販売のウェブページが数多く検出された。そのため、べっ甲

の歴史や技術を紹介しているページは少なく、べっ甲店などに注目しながら検索を進めていくことが要求される。また工芸品としての産地が限られている点も、歴史や技術に関する紹介を行うウェブサイトの少なさと関係していると思われる。それゆえ、ウェブページ上の情報が正しいかどうかの判断は難しい。べっ甲の伝来時期としては約1300~1360年前といった相対的記述が2つあるが、時代が変化していくことから、絶対的表記が望ましい。また今回検出されたほぼすべてのウェブページが、第2層に年代や技術発祥地を表示していることから、児童生徒が求める歴史的情報を把握するには、若干手間がかかることも予想される。しかし、連絡先が明示されている点は私のウェブページであっても情報の公開に責任を持っていることを示すことになる。ゆえに誤記を表示している際でも指摘が可能である点に関しては、「チャンポン」や「トルコライス」といったウェブページに比べると、開設者の配慮がなされているウェブページと言える。

これまで見てきたことをまとめると、間違い情報は予測どおり主として著者がはじめに設定した指標、つまり年号(年代)、その他の数値(数字)、固有名詞、スペリングなどであることが確認された。したがってウェブ上から得られるこれらの情報の扱いには、注意が必要であることがわかる。年代が相対的表示の場合、どの程度の間隔で改訂されるのだろうか、約何年前の約はどの程度まで許容されるのだろうか、また年号に到っては、別にいくつかの要素がある。これは印刷メディアについても同じことが言える。例えば和暦と西暦との関係や西暦のユリウス暦とグレゴリオ暦の関係などである。したがって仮に全ての年代表記を西暦(グレゴリオ暦)に統一して表現しても、一般的な利用に際しては、概ね1年程度の誤差は容認されるべきで

あろう。又はこのことを知った上で得られた情報を利用すべきである。

3. 情報の信頼性

ウェブページ上の情報の信頼性の有無を判断する目安として以下のものが考えられる。これらの各項目について略述する。

・開設者

誰がウェブページを開設しているかを示している。この記載があるか、多くの場合トップページに記載されているが、重要なポイントである。

・改訂情報

定期的に改訂されているか、このことによって情報の鮮度がわかるはずである。また年代の相対的表示は時間とともに変化することから、仮に年代表記が正しいとすればこの情報を閲覧時点で修正できる。

・連絡先

連絡先が明示されているか。開設者情報に加えて連絡先が明示されていることは重要である。一般に公的サイトにはこれの明示がある。しかしながら個人が開設している多く

のウェブページでは、わずらわしさを避けるためほかの理由により、記載していないことが多い。したがって信頼性は高くないと判断されることが多い。

・原典

わが国のウェブページには、ほとんどの場合原典が示されていない。このことがウェブ上の情報に信頼性を与えていない主たる理由の1つと考えられる。このために公的色彩の強い新聞社や雑誌社などの記事検索によって得た情報は、それなりに信頼性がおけると思われるが、これらの情報も信憑性という点で必ずしも完璧ではない。

ちなみに本研究で閲覧したウェブ上の情報は、表2のとおりである。ウェブページ上の情報の信頼性を判断するとき、これらの要素が記載されていないものは、最初にその判断からはずされるであろう。本研究では、なるべくこれらの情報が掲載されているものを選んで閲覧した。その意味でもし任意にウェブサイトを調べば、これらの情報の記載割合はさらに低下するものと思われる。

表2. 本研究で閲覧したウェブサイトにおける情報掲載数^{a)}

事項(閲覧サイト数)	開設者	更新情報	連絡先
シーボルト事件(15)	11	4	7
波佐見焼(15)	14	7	12
三川内焼(10)	7	5	6
トルコライス(10)	5	2	6
チャンポン(7)	4	2	5
長崎カステラ(10)	10	8	10
べっ甲(4)	3	1	4

^{a)}上層に記載のあるものを含む。

4. 間違い情報を避けるには

情報検索に際してもっとも大きな力を発揮するのは、サーチエンジンと呼ばれるウェブページを探し当てるソフトウェアである。この種のソフトウェアは数多くあるが、現在

わが国で最もよく使われているものは、数種に限られている。また情報検索に用いるソフトウェアが全てまったく同じやり方でウェブサイトを検索しているわけではない。それはいくつかのサーチエンジンで同じことが

らを検索し、ヒット数を調べれば簡単に判断できる。

・サーチエンジンを選ぶ

ヒット数が多い程良いエンジンであるとは限らない。サーチエンジンにもそれぞれの得意分野がある。したがって検索目的に合った選び方をする必要がある。

・サーチエンジンの使い方

パソコンが高速になったためデフォルトで検索してもほぼ余計な時間はかからない

このことがそもそも問題であるのだが、

。しかしながらデフォルトでの検索では、 unnecessary 情報を得ることが多い。したがって無駄な情報を出さないために、つまり欲しい情報のみを取り出すための正しい利用法について述べる。設定はきちんとする。決してデフォルトのままでは使わない。つまりオプションを正しく設定する。ほとんどのサーチエンジンには、検索に際してオプションが設定できるようになっている。このことによって、例えば、日本教育メディア学会（日本メディア教育学会）、室生犀星（室尾犀星）のような明らかな間違いを避けることができる²⁾。つまり間違っただけ情報は検索に引っかからないようにできるし、逆に間違い情報のみを取り出すこともできる。またウェブサイト上には新しい情報と古い情報が混在している。新しい情報のみを選び出すには、更新期日を指定した検索にしなければならない（この場合も当該サイト上の全ての記事が更新されているわけではない。このことを知って利用することが必要である）。

- したがって正しい情報を得るためには、
まずオプションを設定する。

情報の信頼性を判断する要素が含まれているページを探す。

ついでいくつかのウェブページの情報を比較し、正しいものを選択する（このことは印刷メディアについても同じであるが）。

5. おわりに

学校教育でまたその他の学習過程に際し、パソコンを用いたインターネット利用は有用なことが多い。しかしながらインターネットを介したウェブ上のデータには、間違っただけ情報もかなりの程度掲載されている。このことについて調べるためにいくつかの指標を選び、実際にかかなりの数のウェブページを閲覧した。これより現に存在するウェブページ上には、相当数の間違い又は不正確な情報が存在することがわかった。これらの間違っただけ（又は不正確な）情報は、ある程度整理し、分類することができるとした。つまりどのような間違いが主であるかを知ることができる。したがってこのことからこれらの間違い情報に対処する方策もわかるだろう。学校現場では、教員たちは児童生徒たちに対してこのような状況を判断させるために、正しい情報リテラシー教育をしなければならぬ。もちろんウェブページ開設にあたっては、間違い情報を掲載しないような指導が必要であることは論を待たない。また教員は授業に先立って、検索しようとする「ことがら」が現にどれくらいの数検出されるのか、不適切な情報サイトにつながることはないのか、もしあればその場合の対処法を考え、さらに検索に際したオプションの決め方、部分一致、完全一致、語順など、AND、NOT、OR などの論理式、論理演算の考え方、の指導をしておかなければならぬ。一方家庭でのパソコンを利用した情報検索に際して私たち一般市民は、現在のネットワークを介した情報システムの状況（ネットワーク上には、かなり粗悪で貧弱な情報があふれているという）に関して、少しは勉強しなければならぬだろう。

ウェブページはまた突然廃止されることもある。そのため以前閲覧した情報を参照できなくなることもある。したがって研究に際した引用には、自らが閲覧した年月日を付記

しなければならないだろう。つまり「ウェブページ上のデータは長期にわたって保存されるものとされないものが混在している」ことも知っておくべきだろう。私たちは従来から多くの情報を印刷メディアから得ていた。今私たちの住むネットワーク社会では、ウェブ上の情報の利用をまったく否定するのではなく、「ウェブページから得られる情報は印刷メディアの情報と異質であることを理解する」とともに、ウェブ上の情報から信頼できる有用なもののみを選び出し、正しく利用する方法を会得すべきではなからうか。

そもそも印刷物にも多くの間違いはある。最も慎重を期すべき学術論文においてすら誤りがあり、印刷後に気づくことが多々あるが、これらは何らかの方法で訂正記事を載せることができる。しかしながら現在のウェブサイト上の運用システムでは多くの場合、旧ファイルに新しいファイルを上書きすれば旧ファイルは残らない。

本研究では特に日本語のウェブサイトのみを扱った。もちろん日本語特有の間違い情報はあるが、外国語のサイトについて調べる際にも、いくつかの点で本研究の結果を利用できるにちがいない。

インターネットを介するウェブページ上の情報の信頼性を高めるにはどうすればよいかも重要な課題である。児童生徒についていえば、全ての情報の信頼性の判断を、利用者自身に任せるのは無理であろう。さらにまた信頼性のない情報をウェブサイト上に載せない工夫はあるのだろうか。さらなる技術の確立が必要ではなからうか。今後の研究に期待したい。本研究はウェブページ上の情報の信頼性についてごく大まかな状況を示したに過ぎない。今後さらに研究を進め、より正確なものにしたい。

付記

本研究の一部は、長崎大学大学院教育学研

究科平成 17 年度後期授業「計算機科学特論」に際して実施された。本研究を通じて、ウェブページの閲覧は可能な限り遺漏のないようにしたつもりであるが、なお多くの見落としがあるだろう。しかしながらこれが例えいくつもあったとしても、研究結果には大きな影響を与えないに違いない。

注

- 1) ポルトガル語の正しいスペリングについて、「城」、「砦」、「やぐら」などを意味する普通名詞は castelo (m) であり、カステーリャ(又はカステイリア)地方又は王国を指す固有名詞は Castela (f) である (m: 男性名詞、f: 女性名詞)。一方スペイン語の正しいスペリングは、それぞれに対し、castillo (m)、Castilla (f) である(ラテン語の城、砦、やぐらなどを意味する普通名詞は、単数形、複数形で、それぞれ castellum、castella である)。またこれらの言語にはドイツ語の場合のように全ての名詞を大文字で書き始めるという習慣はないと思われる。なお一般的に外国語の発音をカタカナで正確に表記するのは不可能であろう。
- 2) かっこ内は間違い情報である。前者は開設者又は著者の勘違いか思い違い、後者は漢字の変換ミスであろう。このような間違いは、日本語のウェブページ上で非常に多く見られる。デフォルトで検索すると、間違い情報の方が正しい情報よりヒット数が多いことがある。

参考文献

後藤康志(2005)、学習者の Web 情報に対する「批判的な見方」の発達、第 12 回日本教育メディア学会年次大会発表論文集、F1-4, pp. 108-109; 後藤康志(2005)、学習者の Web 情報に対する「批判的な見方」尺度の作成、教育メディア研究、Vol. 11,

No.2, pp. 39-46.
毎日新聞(朝刊)(2005/11/3)、総合学習、肝
心なのは調べ方。
和田正人(2005)、教員養成学生のインターネ
ット利用教育におけるリスク認知の研究、
第12回日本教育メディア学会年次大会発
表論文集、F4-6, pp. 140-141.

参考URL

・フリー百科事典『ウィキペディア
(Wikipedia)』
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>
・神田古書店連盟『和暦変換』
<http://www.book-kanda.or.jp/asp/Era.asp>

Summary

With learning and research objectives, in order to get useful information we have attempted to use internet technology in these recent years. The technology strongly owes to the rapid development of personal computers (PC) and network systems. This also involves the concepts

of both hardware and software systems. The technique is very convenient for us to ordinary use. Some portion of information stored on the Web sites, however, sometimes seems to be not correct or insufficient. We have examined here what kinds of error information usually exist on the Web sites. We also have described how we can avoid from the error information. On the use of PCs at schools the teachers have to instruct information literacy properly for the students to realize the present situation in relation to the real Web information. In the present paper we have treated only on the Web sites which are written in Japanese language. Nearly analogous circumstances may be seen in the Web sites written in foreign languages.

Key words: internet technology, Web site, information, reliability of the information, educational use

付表1. シーボルト事件

	事件の年号	文字ミス	変換ミス	開設者	開設日	更新情報	カウンター	連絡先
1)	1828年	×	×			×	×	
2)	1828年	×	×			×		
3)	×	×	×		×	×	×	×
4)	1828年	×	×	×	×	×	×	×
5)	1828年	×	×	×	×	×	×	×
6)	1828年	×	×			×	×	
7)	1828年	×	×	×	×	×	×	×
8)	1828年	×	×			×	×	×
9)	1828年	×	×			×	×	×
10)	1828年	×	×	×	×		×	
11)	×	×	×			×	×	×
12)	×	×	×		×		×	×
13)	×	×	×		×			
14)	×	×	×			×		
15)	文政11年(1828年)	×	×					

○：あり、△：上層にあり、×：なし

1) 切手で見える日本の科学技術の発展(2005/10/15)、
<http://www.hps.hokudai.ac.jp/hsci/stamps/1828a.htm>

2) かたつむり行進曲(2005/10/15)、
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~katatumuri/siebold/siebold20.htm>

3) シーボルトと彼の日本植物研究(2005/10/15)、
http://www.um.u-tokyo.ac.jp/publish_db/2000/Siebold/05/0500.html

4) シーボルト(2005/10/15)、
<http://www.tabiken.com/history/doc/1/I023C200.HTM>

5) 歴史上人物(2005/10/15)、
http://www.islands.ne.jp/yawatahamaozu/people_back/people2/rekishii/

6) シーボルト(2005/10/15)、
<http://db.gakken.co.jp/jiten/sa/209720.htm>

7) 蘭学(2005/10/15)、
<http://www.city.mizusawa.iwate.jp/syuzou01/jinsei/jishou/ran2.html>

8) シーボルトの医学(2005/10/15)、

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/ml/exhibit/Siebold/shiboruto.html>

9) 貴重資料の画像説明(2005/10/15)、
<http://www.sophia.ac.jp/J/lib.nsf/Content/pic1>

10) フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト(2005/10/15)、
ja.wikipedia.org/wiki/

11) シーボルト標本の解説(2005/10/15)、
<http://ameba.i.hosei.ac.jp/sbweb/doc/NK0020.html>

12) シーボルト日本(2005/10/15)、
<http://opac.u-air.ac.jp/library/lib/seiyounihon/nippon-siebold.html>

13) 出島三学者(2005/10/15)、
<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/history2/history21.html>

14) シーボルト目次(2005/10/15)、
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~katatumuri/siebold/mokuji10.htm>

15) シーボルト(2005/10/15)、
<http://burari2161.fc2web.com/si-boruto.htm>

附表2 . 波佐見焼

	始まりの時期年号など	文字ミス	変換ミス	開設者	開設日	更新情報	カウンター	連絡先
1)	慶長4年(1599年)	a)	×		×	×	×	
2)	慶長4年(1599年)?	×	×			×	×	×
3)	16世紀末	×	×		×	×	×	×
4)	江戸時代(1603-1867年)初期	×	×	×	×	×	×	×
5)	約400年の歴史	×	×		×	×		
6)	16世紀末	×	×		×		×	
7)	1580年ころ	×	×		×		×	
8)	慶長3年(1598年)	×	×		×		×	
9)	文禄(の役1592-1593年)・慶長の役(1597-1598年)後	×	×		×		×	
10)	桃山時代(安土桃山時代1568-1600年)	×	×		×	×	×	
11)	×	×	×		×		×	
12)	約400年の歴史	×	×		×			
13)	1600年(代)の初めころ	×	×		×	×	×	
14)	江戸の昔(1603-1867年)	×	×		×		×	
15)	江戸初期	×	×		×	×	×	

：あり、 ：上層にあり、 ×：なし、 かつこ内の年号ほかは、著者が加筆した。

a)スプリングの間違い

- 1)波佐見陶磁器工業協同組合(2005/10/18)、波佐見焼、
<http://www.hasamiyaki.or.jp/main.shtml/>
- 2)長崎県波佐見町波佐見焼400年祭実行委員会(2005/10/18)、波佐見焼400年の歩み、
<http://www.iocd.co.jp/hasami/hasami400/>
- 3)情報処理推進機構(IPA)(2005/10/18)「教育用画像素材集サイト」、
<http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>
<http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/x-den1/x-dto3/x-dhs/IPA-dend60.htm>
- 4)波佐見焼(2005/10/18)、
<http://www6.ocn.ne.jp/~summy/hasami/hasami.htm>
- 5)長崎県の伝統的工芸品(2005/10/18)、
http://www.pref.nagasaki.jp/toukei/kids/_syoukougyou/dentoukougeihin/kougei/hasami.htm
- 6)伝統的工芸品産業振興協会(2005/10/19)、
<http://www.kougei.or.jp/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/crafts/0425/f0425.html>
- 7)長崎県波佐見町観光協会(2005/10/19)、波佐見町観光ガイド、
<http://www.hasami-kankou.jp/index.html>
<http://www.hasami-kankou.jp/rekisi/>
- 8)波佐見町(2005/10/19)、波佐見の紹介、
<http://www.town.hasami.nagasaki.jp/hasami2/index.html>
- 9)福博印刷(株)うまか陶編集室(2005/10/19)、うまか陶、
<http://www.umakato.jp/index.html>
<http://www.umakato.jp/library/area/sanchi17.html>
- 10)NTT番号情報株式会社(2005/10/19)、タウンページ、
<http://itp.ne.jp/>
http://itp.ne.jp/contents/kankonavi/nagasaki/dentou/nag_den01.html
- 11)西海陶器(株)(2005/10/20)、西海のふるさと、
<http://www.saikai-toki.com/>
- 12)波佐見焼(2005/10/20)、
<http://life-touya.com/index.htm>
<http://life-touya.com/hasami/hasami1.htm>
- 13)(株)とう器ハウス(2005/10/20)、とう器ハウス、
<http://www.toukihouse.co.jp/RK/index.htm>
- 14)奥川陶器(株)(2005/10/20)、赤井倉、
<http://www.okugawa-touki.jp/index.html>
<http://www.okugawa-touki.jp/akaigura/index.html>
- 15)石丸陶芸(2005/10/20)、肥前美術倶楽部、古陶磁美術館、緑青、
<http://i-togei.net/index.html>
<http://i-togei.net/top/ryoku-satsuma.htm>

付表3 . 三川内焼

	始まりの時期年号など	文字ミス	変換ミス	開設者	開設日	更新情報	カウンター	連絡先
1)	慶長3年(1598年)平戸・中野、(1638-1643年)三川内	×	×		×	×	×	
2)	×	×	a)	×		×		×
3)	寛永15年(1638年)、寛永18年(1641年)、寛永20年(1643年)、慶安3年(1650年)	×	×	×	×	×		×
4)	慶長3年(1598年)平戸	×	×	×	×	×	×	×
5)	慶長3年(1598年)平戸中野、寛永14年(1637年)三川内	×	×		×		×	
6)	慶長10年(1605年)平戸中野、元和8年(1622年)三河内	a)	×		×			
7)	(1598年)平戸中野、寛永15年(1638年)、寛永20年(1643年)三川内	×	×		×		×	
8)	×	×	×				×	
9)	400年の歴史	×	×		×	×	×	×
10)	1598年	×	×					

：あり、：上層にあり、×：なし、かつこの年号ほかは、著者が加筆、一部は著者が改変した。

a)現在、JRは三河内駅を、焼き物は三川内焼を使っている。

- 1)三川内陶磁器工業協同組合(2005/10/25)、三川内焼、
<http://www.mikawachi-utsuwa.net/index.html>
<http://www.mikawachi-utsuwa.net/html/kumiai/index.html>
- 2)個人(2005/10/25)、平戸焼と平戸八景、
<http://homepage1.nifty.com/hirado/index.html>
- 3)Ceramics Online Explorer(2005/10/25)、長崎県三川内焼をたずねて、
<http://members.at.infoseek.co.jp/toujiki/index.htm>
<http://members.at.infoseek.co.jp/toujiki/vc-hal/mikawachi/mikawachihis.htm>
- 4)個人(2005/10/25)、三川内焼のはまぜん祭りに立ち寄って、
<http://www9.ocn.ne.jp/~washimo/Trip/mikawachi/mikawauchi.htm>
- 5)九州電力(2005/10/25)、伝統工芸、九州宝箱、
http://www1.kyuden.co.jp/company_social-action_messena_kogei_kogei_index
http://www1.kyuden.co.jp/company_social-action_messena_kogei_detail_mikawachi_mikawachi
- 6)長崎県警察本部(2005/10/26)、三河内焼と三河内陶器市、
<http://www.npp-unet.ocn.ne.jp/>
<http://www.npp-unet.ocn.ne.jp/tikihanasi/11haiki/mikawati.htm>
- 7)佐世保観光コンベンション教会(2005/10/26)、

- Sight させば、
http://www.sasebo99.com/sight_sasebo/index.shtml
- http://www.sasebo99.com/sight_sasebo/mikawatiyaki.shtml
- 8)長崎新聞(2005/10/26)、ながさき動画館、
<http://www.nagasaki-np.co.jp/index.html>
<http://www.nagasaki-np.co.jp/kankou/douga/index.html>
- 9)るるぶ.COM(2005/10/26)、日本のイベントサーチ、三川内陶器市、
<http://www.rurubu.com/event/detail.asp?ID=10253&year2=2005&month2=10&day2=11>
- 10)九州観光推進機構(2005/10/26)、九州探訪、焼き物めぐり、三川内焼、
<http://www.trip.co.jp/lovekyushu/index.html>
<http://www.trip.co.jp/lovekyushu/inquire/main.html>
<http://www.trip.co.jp/lovekyushu/inquire/togeti.html>
http://www.trip.co.jp/lovekyushu/inquire/togeti_5.html

付表4．トルコライス

	始まりの時期 年号など	画像	開設者	開設日	更新情報	カウンタ ー	連絡先
1)	×				×		
2)	昭和30年代		×		×		
3)	1950年	×	×	×		×	
4)	×		×	×	×	×	×
5)	1960年頃			×	×		
6)	1950年				×	×	
7)	昭和30年	×	×	×	×	×	×
8)	1925年		×	×		×	×
9)	×				×	×	
10)	昭和30年代				×	×	×

○：あり、△：上層にあり、×：なし

- 1)トルコライス共和国(2005/10/22)、
<http://www.nanet.co.jp/turkey/>
http://www.nikkan-kyusyu.com/view/tl_1116228173.htm
- 2)viva la トルコライス(2005/10/22)、
<http://www.geocities.co.jp/Foodpia/3439/>
- 3)トルコライス(2005/10/22)、
<http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- 4)トルコライス(2005/10/22)、
<http://www.the-nagasaki.co.jp/04TORUCO/TR-A-02.HTM>
- 5)トルコライスの謎(2005/10/22)、
<http://www1.cncm.ne.jp/~kitty/topics/toruko.html>
- 6)長崎に行けばトルコライス(2005/10/22)、
<http://www.h6.dion.ne.jp/~be.happy/travel-torukoraisu.htm>
- 7)はてなダイアリー／トルコライス(2005/10/22)、
<http://d.hatena.ne.jp/keyword>
- 8)トルコライス食べ比べ(2005/10/22)、
http://www.nagasaki.web-saito.net/column/index_198.html
- 9)生粋市場(2005/10/22)、
<http://www.piconet.co.jp/magazine/recipe/bkno.cgi?id=79>
- 10)長崎のお料理(2005/10/22)、
<http://www.h6.dion.ne.jp/~be.happy/travel-torukoraisu.htm>

付表5．チャンポン

	始まりの時期 年号など	画像	開設者	開設日	更新情報	カウンタ ー	連絡先
1)	明治30年代				×	×	
2)	明治32年				×		
3)	明治初め	×	×	×		×	×
4)	×	×	×		×	×	×
5)	明治32年				×	×	
6)	明治中期		×	×		×	
7)	明治初期				×	×	

○：あり、△：上層にあり、×：なし

- 1)みろくや、長崎ちゃんぽん(2005/10/28)、
http://www.mirokuya.co.jp/chanpon/history_chanpon.html
- 2)長崎ちゃんぽん情報(2005/10/28)、
<http://cyanpon.hp.infoseek.co.jp/chanpon.htm>
- 3)笑子のページ(2005/10/28)、
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~ub031705/johokiso/>
- 4)お取り寄せグルメマップ(2005/10/28)、
http://mynet.fc2web.com/gourmet_momo/grm0136kyu.html
- 5)四海楼、長崎ちゃんぽん(2005/10/28)、
<http://deuxplus.com/>
- 6)ちゃんぽん(2005/10/28)、
<http://ja.wikipedia.org/wiki/ちゃんぽん>
- 7)京華園、長崎ちゃんぽん(2005/10/28)、
<http://www.kyokaen.co.jp/tyanpom.html>

付表6．長崎カステラ

	渡来の時期年号など	カステラの語源 (ポルトガル語)	文字 ミス	変換 ミス	開設 者	開設 日	更新 情報	カウン ター	連絡 先
1)	16世紀	カステーリア(カステラ)、城(castelo)	×	×		×	×	×	
2)	元龜2年(1571年)	カステイラ	×	×		×	×	×	
3)	400年以上前	カステーリヤ	×	×		×		×	
4)	16世紀頃	カステイリア	a)	×		×			
5)	室町(時代 1338-1573年)末期	カステーリヤ (Castelra)、城 (castella)(ラテン 語)	a)	×		×		×	
6)	約400年前	カステーリヤ、城 (キヤステーヨ)	×	×		×		×	
7)	天正(時代 1573-1590)時代・約 400余年前	カステラ(Castella)	a)	×		×		×	
8)	約400年前	カステイリア (Castilla)	×	×		×			
9)	×	Castela、城(Castelo)	×	×		×		×	
10)	約400年前	Castella	a)	×		×		×	

：あり、：上層にあり、×：なし、かっこ内の年号等は一部著者が加筆した。

a)スペリングの間違い

- 1)福砂屋、カステラ文化館(2005/10/31)、長崎カステラ公式サイト、
<http://www.castella.co.jp/home.html>
- 2)松翁軒(2005/10/31)、
<http://www.shooken.com/>
- 3)文明堂(2005/10/31)、
<http://www.bunmeido.co.jp/story/>
- 4)菊水堂(2005/10/31)、
<http://www1.cncm.ne.jp/~kikusui/index.html>
- 5)語源由来辞典(2005/10/31)、
<http://gogen-allguide.com/ka/castella.html>
- 6)大阪心齋橋長崎堂(2005/10/31)、
<http://www.nagasaki-do.com/castera.htm>
- 7)タウンページ、全国の都道府県別 特産品情報(2005/10/31)、

- http://itp.ne.jp/contents/kankonavi/nagasaki/tokusan/nag_tok02.html
- 8)九州のお土産(2005/10/31)、長崎異人堂の カステラ、
<http://www2.teruway.coco.jp/index.html>
- 9)みろくや(2005/10/31)、みろくや食文化、
<http://www.mirokuya.co.jp/top.html>
<http://www.mirokuya.co.jp/syokubunka/bunka20.html>
- 10)ilovemie.com(2005/10/31)、JAL 特集、日本のグルメ(地域特産品&名物：九州)、
<http://www.ilovemie.com/town/mietown.htm>
<http://www.ilovemie.com/jalook/index.html>
<http://www.ilovemie.com/jalook/gourmet/japan4.html>

付表7．べっ甲

	わが国への伝来時期など	わが国でのべっ甲細工の始まり	開設 者	開設 日	更新 情報	カウン ター	連絡 先
1)	約1300年前(隋から)	約300年前		×	×	×	
2)	×	奈良時代(710-794年)?	×	×			
3)	奈良時代(710-794年)(中国から)	寛永年間(1624-1643年)		×	×	×	
4)	約1360年前(隋から)	約300年前		×	×	×	

：あり、：上層にあり、×：なし

- 1)尾上べっ甲(2005/11/5)、
<http://www.onouebekko.com/>
- 2)中山べっ甲(2005/11/5)、
<http://www.h7.dion.ne.jp/~bekko/>
- 3)川口べっ甲(2005/11/5)、

- <http://www.geocities.jp/hmkg/>
- 4)江崎べっ甲(2005/11/5)、
<http://www.n-brand.net/Top/ezakibekko/>